

▶ Doctor

医師 (NICU医)

迅速な判断・処置で、早産で生まれた超未熟児などの命を守る



不安を抱える親御さんへの
説明やケアも
大事な役割の一つです

神奈川県立こども医療センター 新生児科 専門研修医 (所属・肩書きは取材時)
遠藤真美子氏

えんどう・まみこ ●1975年生まれ。東京・私立慶應義塾女子高校、千葉大学医学部、同大学大学院医学研究科卒。研修病院などを経て千葉大学医学部附属病院小児科へ。11年より上記職。現在は千葉大学に復帰。

NICU(新生児集中治療室)とは
どのような施設なのでしょうか？

病院の産科や新生児科に設けられている施設で、妊娠中期など早い時期に生まれたり、何らかの病気をもつて生まれたりした赤ちゃんを対象としています。

早産の場合、本来まだお母さんのお腹の中で守られているはずの未熟な子が外に出てくるので、触っただけで具合が悪

くなったり、頭の向きを変えただけで脳内出血してしまったりするリスクがあるんです。中には400〜500グラムで生まれてくる子もいます。こうした赤ちゃんに適切な処置をし、おうちに帰ることができるようになるまでケアするのが主な役割ですね。そのために、専用の設備を整え、専門知識をもった医師や看護師が配置されています。

お腹の中で病気がみつかった子、生まれてから病気だということがわかった子は、病院によっては一般の小児科で対応するケースもありますが、当センターではまずNICUが担当します。

NICU医の仕事について
教えてください

母体の様子を見て産むか産まないかの判断をし、出産させるまでは産科の医師の仕事。生まれたらNICU医にバトナタッチします。まず口の中の羊水などを取り除いてあげて、自分の力で呼吸ができるかどうか、心臓が脈打っているかどうかを確認。呼吸ができなければ気管内挿管などの処置をしますし、肺を広げる薬などを使う場合もあります。その後、NICUの保育器に移し、必要に応じて人工呼吸器や点滴をつなげます。当センター外での早産などに対応するケースでは、救急車に乗って駆けつけ、現場で処置をしてから搬送します。

さらに、赤ちゃんに心臓疾患などの病気がある場合にはほかの科の医師を手配するのも私たちの役割です。

いずれの場合も、緊急度が高い状況で、赤ちゃんにどういう問題があり、何をすべきかを「決める」のがNICU医の最も重要な仕事です。

また、医師が治療や処置をすれば終わりではなく、その後、赤ちゃんが安全に

過ごせるようケアしたり、親御さんをサポートしたりすることも大切。だから、看護師やソーシャルワーカーなどほかの専門家とのチームワークが他科の医師以上に求められますね。

NICU医になるまでの
経緯を教えてください

医師になろうかなと思ったのは高校生のころですね。お医者さんの話を聞く機会が何度かあつて興味をもつたのと、女性なので何か資格をもつて続けられる仕事に就きたいという思いもありました。子どもを対象とした医療に関心を強めたのは医師になつてから。専門は小児科の神経の領域で、大学院でもその研究をしていました。ただ、研修医時代にNICUは経験していませんし、ずっと関心はあつたんです。NICU医になつた直接のきっかけは、勤務先の千葉大学医学部附属病院でNICUを作ることになり、専属でやらないかという話が来たこと。そのためにはもっと勉強しなくては、当センターに研修に来ていました。

この仕事のやりがいや
感じることは？

私たちがかわつた子が成長していくことですね。退院するときもうれいですが、その後、病院の外で元気に過ごしているという話を聞くと、より大きな喜びを感じます。

いつから開業医を目指したのですか？

当初は開業するつもりがまったくありませんでした。大学を出て、まずは経験を積もうと救急病院に入りました。そこで4年間働き、次に大病院に5年間、さらに一般病院に5年間。いずれも救急車が毎日ひっきりなしに来るような激しい現場で、朝も昼もなく患者さんを診て、自分の専門である消化器を中心に技術を磨きました。

働き始めて10年ほど経ったとき、技術が「通り身につき、自分のやりたい医療の形も見えてきました。それは心の側面も診る「心療内科」や、「在宅医療」「検査」などを組み合わせた総合医療だったのですが、勤務していた病院では実現できそうにありませんでした。実現させるには自ら開業するしかないと思いついたのが01年ごろ。準備を始め、約2年後に開業にこぎつきました。

貯金が多くなかったため、資金調達にとても苦労しました。事業計画書を握りしめ、銀行やリース会社を回って何とか開業資金をかき集めました。本当にヒヤヒヤものでした。

信愛クリニックの診療科目を教えてください

消化器を中心とした内科全般と、心療内科、皮膚科、在宅医療、老年科（介

医師の仕事のどんなところが魅力を感じていますか？

私は診察が大好きで、次から次へと患者さんを診たいタイプの医師です。私にとつて診察とは、親しい人が訪ねてくる感覚なのです。治療をして、楽しく会話をし、「もつとお元氣になりました、ようね」などと励まして別れる。「では、次の方どうぞ」とまた親しい人が現れて、治療して、心を通わせて…。そんなふうに朝から晩まで飽きずに診察しています。もちろん深刻なケースもあります。しかし、そういうことも含めて患者さん一人ひとりにドラマがあり、私はまるで「短編映画」を次々に見せてもらっているかのような感覚で診察をしています。

医師という職業はお勧めできますか？

医師には研究者の道などもあります。私が、私のような臨床医という仕事は、「人

とかかわる仕事したい」という人にとつては、いつまでもやりがいが続く、大変すばらしい仕事だと思います。

さらに開業医という仕事を、私は本当にお勧めしたい。開業医とは起業家であり、経営者であり、リーダーですが、私のクリニックというならば、地域において真に患者さん中心の医療を実現するために目標を立て、計画を立て、それを日々実践していく。そんななかでメンバーが喜んだり、苦しんだり、成長してくられて、組織全体も成長していく。そういうダイナミズムを味わえる点が私は大

いに気に入っています。医者つて、ともしれば自分一人が頑張っている気分になりやすいのですが、現実はそのごく多くの人に支えられている。開業してそのこ

内科、心療内科、在宅医療などを通じ理想の地域医療を実践する

信愛クリニック 院長 井出広幸氏

い・ひろゆき ●1965年生まれ。東京・私立海城高校、群馬大学医学部卒。03年、信愛クリニック開設。総合内科専門医などの資格をもつ。心療内科の診かたを全国の医師に指導する活動も行っている。

General Practitioner 開業医

自分と向き合い 患者さんと向き合える 医師になってください



Doctor

医師 (公衆衛生医)



国・地域という規模で
多くの人の健康に
貢献できる仕事です

JICAなどの プロジェクトに参加し、 途上国の感染症対策 に取り組む

独立行政法人 国立国際医療研究センター
国際医療協力局 派遣協力第一課 医師
石川尚子氏

いしかわ・なおこ ●1969年生まれ。茨城県立水戸第一高校、秋田大学医学部卒。国内の病院勤務を経て、国境なき医師団、JICAに参加し、途上国での医療援助活動などに従事。07年より現職。

国立国際医療研究センターでの
仕事内容を教えてください

私が所属する国際医療協力局は途上国の感染症対策や母子保健対策、保

健システム強化をミッションとしていますが、私も感染症対策グループの一員で、なかでもHIV対策が専門です。

具体的な仕事は大きく分けて研修、研究、海外プロジェクトの技術参与の3つ。当センターに入ってから1年めは、途上国の医師、看護師や国際保健の専門家を目指す日本人を対象とした研修を主に担当しました。2年めからはHIVの母子感染や小児HIVに関する研究に従事。その間、WHO西太平洋地域事務局への短期派遣などを挟んで、2010年からの2年間は、アフリカのザンビアでJICAが実施するHIVの治療プロジェ

クトに専門家として参加しました。

公衆衛生医とは
どのような専門家なのですか？

公衆衛生医は患者を直接治療するわけではありません。特に海外で仕事をする場合、対象国で感染症を予防したり、適切な医療サービスを提供したりするために、その国の保健省とともにその国や地域で何が問題になっているかを分析し、それを解決するためのしくみ作りをし、現地の医療スタッフに対して研修などを行うのが役割です。

例えば、ザンビアはHIV患者が多く、一方で医師が足りない。そのため、准医師や看護師しかいない町のクリニックでも質の高い治療を提供できるシステム作りに取り組みました。

公衆衛生医に
なるまでの経緯は？

高校生のころ、テレビで飢餓に苦しむアフリカの子どもの映像を見たのが医師を目指したきっかけです。英語が好きで海外で働きたいとも考えていたのですが、途上国で働く医師になろうと思いましたが、大学のサークル活動で地域医療やアジアの保健事情に関して、実地を含めて勉強した経験も大きかったですね。

大学卒業後は、3年ほど研修医として内科、外科、小児科、救急救命などを二通り経験し、一般の医師として国境なき

医師団のタイ・ミャンマー国境難民キャンプ医療援助活動に2年間参加しました。その際に「マリアアやコレラなど日本では診たことがない感染症に触れ、「知らないことが多すぎる」と感じて、契約終了後にロンドン大学衛生熱帯医学大学院修士課程に留学。公衆衛生の専門知識や実践的スキルを磨きました。

2000年から中国の貧困地域で予防接種サービスを充実させるJICAのプロジェクトに公衆衛生医として参加。2004年からロンドン大学教育学専門大学院博士課程に進み、子どものHIV/AIDSについて研究しました。

この仕事のやりがいと
大変なところは？

対象が国、地域という規模なので、私たちのアイデアや努力で非常に多くの人の命や健康を守ることができる可能性がある。そこに大きなやりがいを感じます。大変なのは、数年置きに世界を転々とするので、自分や家族の生活を犠牲にせざるを得ないところです。

高校生にメッセージを
お願いします

実は私、高校時代に数学が大の苦手だったんです(苦笑)。でも、医学は解剖学など暗記中心の勉強が多いので、数学が嫌いな人でも大丈夫。大事な得意科目よりモチベーションです。

男性で看護師を選んだのはなぜですか？

教職を目指していましたが、大学卒業後は別の仕事に就職。でも、28歳になったころ、やはり人と接する仕事がしたいと思い、中でも需要が安定している看護師がいいなと考え、養成学校へ入りました。男性が少ない職業だということはまったく気にしなかつたです。ちなみに、男性看護師の割合は全国平均で約5%。徐々に増えています。勤務する国府台病院は256人の看護師のうち30人が男性で、全国より割合は高いほうですね。

今の病院を就職先として選んだのはなぜですか？

学生時代の実習で、精神疾患は薬や治療だけではなく、人とのかわりの中で改善していくことが何より大事だと知り、精神科に興味をもったからです。それでせつなくなら精神科と一般科病棟の両方が経験できる総合病院がいいと思い、国府台病院を選びました。

仕事の内容を教えてください

最初の4年間は消化器科病棟、その後、精神科病棟を5年経験し、現在は脳神経外科・泌尿器科・救急科のある混合病棟に勤務しています。基本的にはどの科に属していても、医師の治療方針のもと、治療がスムーズに行えるように補助

し、患者さんとその家族への対応をするのが看護師の役割です。具体的な仕事を清潔に保つケア、食事介助や経管栄養など栄養にかかわるケア、排尿・排便など排泄にかかわるケアといった療養上の世話をはじめ、各種検査や注射・点滴・内服といった与薬、手術の準備やリハビリの介助など、実に多岐にわたります。さらに患者さんの状態・状況をカルテに記録する作業もあります。

勤務は2交替制。「大変ですね」と言われますが、私は夜勤明けに長く休めるのでこの体制が好きです。休みはバイクに乗ったりして楽しんでます。

看護師になって心に残っている出来事は？

すでに末期がんでターミナルケアに入っていた高齢の女性の患者さんがいました。もう長くはないとわかっていましたが、息子さんの「最期は自宅で過ごさせてあげたい」という意向が強かったため、自宅での介護体制を整えていきました。結果的には間に合わなかったのですが、息子さんが「母親のためにそこまでしてくれたことがうれしかった」と言ってくれました。1年めのことだっただけに忘れられない出来事です。同時にこの時、医師、薬剤師、ソーシャルワーカーなど各部門のスタッフを巻き込んで、患者

さんをケアしていく中核的役割を果たすのが看護師なんだと思いました。

仕事で常に心がけていることは何ですか？

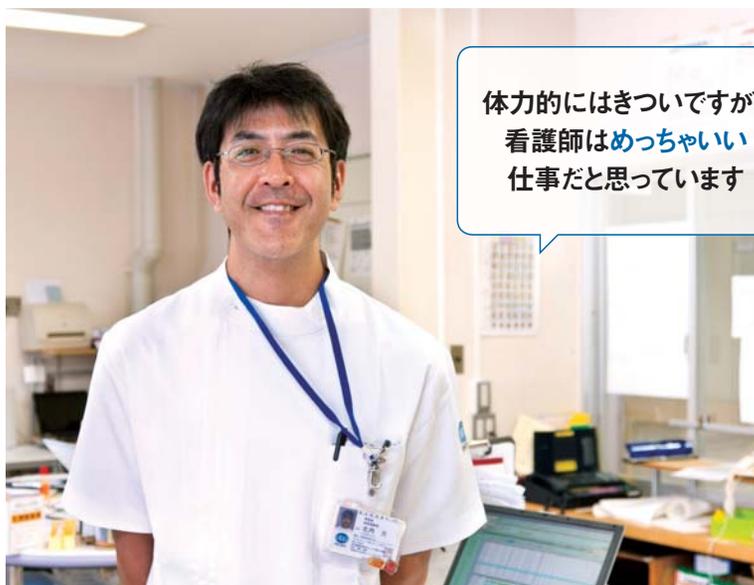
患者さんにとって入院はあくまで通過点、生活のメインは自宅です。ですから退院後、自宅でその人らしく暮らせるようにするには、入院中、どんな看護をすべきなのか。それはものすごく考えます。そ

の視点があるかどうかで、看護のクオリティーも全然違ってくると思うからです。ですから身の回りのお世話に関しても患者さんが自分でできないから、手伝うのではなく、ご自身でできるようにするようなフォローをしています。また、患者さんには常に誠実でありたいと思ひ、言葉遣い一つにしても耳障りにならないよう、気をつけています。

▶ Nurse

看護師

医療チームの中核となって
患者の身体・精神ケアを行う



体力的にはきついです、
看護師はめっちゃいい
仕事だと思っています

独立行政法人 国立国際医療研究センター国府台病院 脳神経外科・泌尿器科・救急科 副看護師長 北内 力氏

きたうち・りき ● 1970年生まれ。大阪府立摂津高校・摂南大学卒。28歳で国立大阪病院附属看護助産学校（現独立行政法人国立病院機構大阪医療センター附属看護学校）へ入学し、31歳で看護師に。

仕事の内容について
教えてください

お年寄りや小さいお子さんが食べ物をうまく飲み込めない摂食・嚥下^{えんげ}障がい、唾液が出にくくなるドライマウス、寝ている際に息が止まる睡眠時無呼吸。この3つを専門とした歯科医師です。いずれも口の機能から全身の機能を見ていくという領域ですね。歯医者といっても、虫歯の治療などは飲み込みに関係するような場合に行うだけです。

なかでも力を入れているのは摂食・嚥下です。病気が原因で飲み込む機能が低下しているお年寄りは、唾液や胃液が肺に流れ込む誤嚥性肺炎^{ごえんせいはいえん}を起こしやすい、死に至ることもあります。だから、医師が食事を禁止し、胃に管を通して栄養を摂る胃ろうという処置をすることが多いんです。でも、きめ細かくサポートをすれば、摂食・嚥下障がいがあっても、胃ろうをしても口から食べ物を摂ることが可能なこともあります。

こうした患者さんに対して、どのような障がいがあるのか、どの程度ものを飲み込む機能があるのかを問診、視診、触診、内視鏡検査などで診断し、どんなものなら食べられるかなどを判断するのが私の仕事です。歯科衛生士と協力して機能向上のためのリハビリも行います。外来診療のほか訪問診療もしています。

開業までの経緯を
教えてください

私は寺の娘で、小さいころから檀家のお年寄りにかわいがられて育ったんです。おじいちゃんおばあちゃんたちが「食べてしゃべれたら幸せだ」と話すのをいつも聞いていて、その力になれる仕事に就きたいと考えるようになりました。

摂食・嚥下を学んだのは大学院です。この道を選んだ当時はまだマイナーな分野でしたが、困っている患者さんは現実にはいましたし、自分の努力が患者さんの役に立つという確信がありました。この分野専門の歯科医院がなかったので、大病院で経験を積んだのち、自分が先例を作ろうと開業を決めたんです。

この仕事で
大切なことは何ですか？

医学の進歩で病気は治るようになってきていますが、治っても障がいが残るケースが多くなっています。これからは、障がいに寄り添う医療が大切になってくると思いますし、私たちが取り組んでいるのもまさにそこです。

そのためには、患者さんやご家族の立場に立ち、一緒に目標を決めていくことが求められます。障がいや病気の状態以外にも、ご本人やご家族の希望、生活環境などさまざまな項目についてじっくり話を聞き、一人ひとりに合った治療方針

Dental Doctor

歯科医師 (摂食・嚥下^{えんげ}専門)

飲み込む機能が低下した高齢者の
食べる楽しみを維持・回復させる



患者さんの立場に立ち
障がいに寄り添う医療を
大切にしています

医療法人美和会 平成歯科クリニック 院長 歯科医師
小谷泰子氏

こたに・やすこ ● 1974年生まれ。兵庫県立小野高校、広島大学歯学部、大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能治療学教室(博士課程)卒。大阪大学歯学部附属病院の医員を経て、09年に大阪府寝屋川市で開業。

今後の目標を
教えてください

を立てるため、問診には時間をかけますね。また、こちが澄ましていたら相手も話しにくいですから、明るいコミュニケーションや雰囲気作りも大切です。

食べられるようになった患者さんやご家族に喜んでもらえることが私にとって一番の喜び。だから、「食医」としてよりよ

い医療を提供できるよう今後も努力していきたいです。一方、摂食・嚥下は注目され始めた段階で、まだ専門家が少ない。そのため、大学院の師匠とNPO法人を作って歯科医師や歯科衛生士などを対象としたセミナーを開催するなど普及にも力を入れています。もっと摂食・嚥下の重要性和専門知識を広めていくことも目標ですね。

Pharmacist

薬剤師 (訪問薬剤師)



患者さんの状態に合わせ、
訪問指導をしています。
地域の人の役に立ちたい

介護や医療の 専門職と連携し、 薬の面から 在宅医療を支える

株式会社メディカルグリーン 大沢調剤薬局片柳店
管理薬剤師

上野将明氏

うえの・ゆきひろ ● 1980年生まれ。茨城県出身。東北薬科大学薬学部卒。同大学大学院薬学研究科博士課程後期課程修了。地元の薬局勤務などを経て、10年に株メディカルグリーン(栃木)に入社。

訪問薬剤師とは
どんな仕事ですか？

病気の治療や症状を悪化させないために医師が薬を処方するわけですが、

在宅で療養する患者さんのなかには「忘れた」「面倒」「わからない」などさまざまな理由から薬を服用しないで済ませるケースがあるのです。そうした患者さんの家に定期的に薬を届け、服薬指導をするのが訪問薬剤師です。

私の場合は普段は勤務先の調剤薬局にいて外来患者さんと接していますが、訪問薬剤師の業務も担当しています。訪問する患者さんは一人暮らしの高齢者。慢性疾患で介護が必要ですが、状態は落ち着いていて寝たきりではありません。でも、薬の飲み残しが多いので、ぜひ飲んでいただくよう、服薬指導が必要

なのです。

患者さん宅での服薬指導は、
どのようにして行うのですか？

ある患者さんは私が初めて訪問したとき、飲み残しの薬が6カ月分にもなっていました。数種類もの薬を朝、昼、夕、夜に飲み分けなければならず、いつ、どの薬を飲めばいいのかわからなくなってしまうというのです。そこで朝に飲む薬、昼に飲む薬などと整理し、1回の服用ごとに分包して1カ月分を渡しました。翌月は飲み残しは減りましたが、3日間は1回は飲み残しがありました。その方は病気で目が見えづらくなっていたので、薬を見分けやすくするために朝は赤いライン、昼は緑色のラインという具合にマーカーで色分けをしました。

訪問する頻度も月に1度から2週間に1度に。患者さんのことを知る機会が増え、そこから得られた情報を生かすようにしていきました。例えば、錠剤が飲みにくいと聞けば、液体の薬や粉の薬に変えられないか、食前の薬を飲み残す傾向があることがわかったなら同じ成分と薬効で食後の薬に変えられないかなど主治医に相談して、患者さんが飲み続けていきやすいよう考えました。その方の担当になって約2年たった今、飲み残しは週に1〜2回というところまで減りました。

患者さんのほか、どんな人たちと
かかわるのですか？

医師、訪問看護師、ホームヘルパーなどと連携し、患者さんを支えます。ヘルパーや訪問看護師から患者さんの性格や習慣を覚えてもらうのですが、服薬計画を考えるうえでも勉強になるんです。ある患者さんは昼食後服用の薬をいつも残していました。が、ヘルパーから「その方は食事に2時間ほどかかり、朝食が済むと昼近くになってしまうため、昼食は食べない」と聞いたんです。患者さんの生活スタイルまで考えることが重要だと実感しました。

この仕事の
やりがいとは？

最初は家の中に入れてくれなかった患者さんですが、信頼関係を築き、今では「待っていたよ。ありがとね」と言ってくれます。うれしいですね。

私はもとは研究者志望でした。薬学をきわめたくて大学院の博士課程後期課程まで進みましたが、家庭の事情もあって薬剤師の道へ入りました。今は訪問薬剤師の仕事を支えることに大きなやりがいを感じています。高齢社会の日本ですます必要とされると確信しています。将来は末期がんの患者さんなど、ホスピスを中心にした在宅医療に取り組んでみたいです。

▶ Clinical Engineer

臨床工学技士

生命の維持管理に携わる
医療機器のスペシャリスト



医療機器だけでなく
さまざまな人とかわり
命を守る仕事です

医療法人社団誠馨会 千葉中央メディカルセンター 臨床工学課
御法川直子氏

みのりかわ・なおこ ● 1983年生まれ。千葉県立木更津高校、埼玉医科大学短期大学臨床検査学科(3年制・現在廃科)を経て、日本工学院臨床工学専攻科一年制を卒業。05年4月より現職に。

臨床工学技士とは
どんな仕事ですか？

医師の指示に従って、患者さんの「生命維持管理装置」を操作したり、保守点検をしたりするのが臨床工学技士です。

「生命維持管理装置」には、血液の中の老廃物を除去し、血液を浄化する「人工透析装置」、心臓と肺の機能を代行する「人工心肺装置」、呼吸を補助する「人

工呼吸器」のほか、「ペースメーカー」などがあります。

御法川さん自身の
仕事内容を教えてください

医療機器の管理・保守点検のほか、心臓カテーテルの検査や、心臓ペースメーカーを装着されている患者さんの診察に立ち会ったりしています。また、人工呼吸器をつけている患者さんのベッドサイ

ドを朝夕とまわり、設定が合っているか、アラームが異常時に作動するようになっているか、回路に亀裂はないかなどと安全性を確認しています。

心臓手術がある場合は、人工心肺装置など必要な機器を準備し、手術中の操作を担当しています。

さらに、医療機器の使い方をほかのスタッフに説明・指導したりもしています。

この仕事に就いて
良かったと思うことは？

新人のころは、工具さえもともに扱えず、自分の未熟さで医師や看護師、先輩方に迷惑をかけるのが何よりつらかったです。そんなある日の夕方、臨床工学技士が私しかない時に患者さんの容態が急に悪くなり、手術を手伝うことになりました。不安でいっぱいだったのですが、医師の言葉に従い、懸命に機器を操作しました。患者さんが一命を取り留めてくれたのもうれしかったのですが、その時、医師から「助かったよ」と言われたことは一生忘れられません。「この仕事を続けよう」と思った瞬間でした。ずっと落ち込んでいた矢先だっただけに、自分でも人に役立つことができるんだと思えたのがすごくうれしかったです。

やりがいと
大変なところは？

人の命にかかわる機器なので、取り扱

この仕事に
必要な力は？

いには相当神経を使います。また、緊急の手術などで呼び出されることもあり、生活も不規則になりがちです。それだけに体力を消耗することも多いです。でも、患者さんが一命を取り留め、元気になつていく姿を見ると疲れも一気に吹っ飛びます。また、自分のやっていることが医師や看護師など、ほかの医療スタッフの力にもなれていることもやりがいの一つです。

臨床工学技士は、想像以上に患者さんやほかのスタッフとかわることが多いので、コミュニケーション能力は大事です。また、集中力も大切です。特に機器を操作している時は、機器の調子や患者さんの様子に集中し、ほんの少しでも変だなどと思うことがあれば、それを見逃さず、対処していく。そんな冷静さも求められます。常に自分で学ぶ姿勢も大事です。呼吸・透析・体外循環・機器といった分類ごとに認定資格があるので、私も資格試験に向けて頑張っています。

高度な医療技術の進歩に伴い、こうした医療機器の高度化・複雑化も層進んできており、臨床工学技士の役割も重要になつてきています。需要も高く将来性もあるので、機械も好きで、人に役立つ仕事かと思っているなら、ぜひおすすめしたいです。

理学療法士とは
どんな仕事ですか？

医師の指示のもと、病気やケガ、老化などで身体に障がいがある人や、障がいの発生が予測される人に対して、身体機能回復・維持を図る訓練を行ったり、生活自立の支援など幅広くリハビリテーションを展開するのが理学療法士(P.T)です。リハビリの対象となるのは脳梗塞などによって脳血管疾患のある方、骨折などが原因の整形外科疾患の方などさまざまですが、私は主に整形外科疾患の患者さんのリハビリに従事しています。

この仕事の魅力と
大変なところは？

魅力は、自分が身につけた知識や技術をもとに、患者さんに合わせた理学療法を提供することで、症状が改善され、動作機能が回復し、元気になってもらえること。「痛みが減った」「関節の動きがよくなった」「歩けるようになった」「ボールを投げられるようになった」などと喜んでくれる姿を見ているだけでうれしくなります。また、スポーツ選手のリハビリを担当した時には、その選手が試合に復帰して活躍すると、自分の提供した理学療法に間違いはなかったんだと思え、ホッとします。ただ、「これでよし！」と思えたことはありません。人の体にかかわることなので決して簡単ではありません。正

解がないのがこの仕事の大変さです。特に自分の知識や技術が患者さんの回復

具合に大きく影響します。それだけに障がいの原因となっている疾患の基本的な知識の習得はもちろん、治療技術の向上のため、常に自分で勉強していく必要があります。そのため、研究会活動にも精力的に取り組むようにしています。

理学療法士に
必要なことは？

患者さんはもちろん、同僚やほかの医療スタッフからも信頼を得られることが大切です。というのも医療はチームで動いているからです。また、身体はどこかに障がいをもった患者さんは、気持ちもつい落ち込みがち、その部分をおもえばかり、しっかりと向き合ってコミュニケーションを取ること大切ですよ。

スポーツの経験は
役立ちますか？

私自身、中学・高校と野球部だったので、その経験はすごく大きいです。例えば、野球選手のリハビリだと日常生活には支障がないけれど、ボールを投げようとすると肩が痛いという場合があります。その際、投げ方を分析して、問題点をみつけるのですが、野球をやっていた経験から動作のどこに問題点があるのかを比較の見極めやすいというのはあります。もちろん、スポーツ経験だけで

改善はできませんが、スポーツで身につけた

身体の動きに対する感覚的なものは現場で役立つと思います。それと、スポーツ選手って本当はケガをしたくないし、病院だつて行きたくない。そういう気持ちがあることも多少はアドバンテージになっていると思います。

高校生にアドバイス
をお願いします

私自身、この仕事が大好きです。社会に貢献できるすばらしい仕事だと思っています。多くの人に挑戦してほしいですが、ただ、PTになるためには高校時代に将来を決断し、専門の学校へ進学する必要があります。だからこそ、まずは病院のリハビリテーション科などを見学し、実際にどんな仕事なのか、ぜひ自分の目で確かめてほしいと思います。

Physical Therapist

理学療法士

身体機能の回復を促進し
自立した生活を支援する



自分の知識や技術で
症状を改善できた時が
何よりうれしいです

独立行政法人 労働者健康福祉機構 関東労災病院 中央リハビリテーション部 主任理学療法士 勝木秀治氏

かつき・しゅうじ ● 1976年生まれ。福岡県立小倉高校、九州リハビリテーション大学校(現在は九州栄養福祉大学リハビリテーション学部)に卒業後、現職に。業務以外に肩関節に関するセミナー講師としても活躍。

**iPS細胞とは
どういう細胞なのですか？**

生き物は「幹細胞」という細胞をもっています。ひとつの卵が細胞分裂を繰り返して、心臓や骨、筋肉、神経とさまざまな組織をつくっていく、この働きのパースになるのが幹細胞です。この幹細胞と同じような働きをする細胞を、体細胞から人工的に作り出す、それがiPS細胞です。iPS細胞の技術を応用すれば、例えば心臓病の患者さんの皮膚細胞から健康な心臓をつくり、治療に役立てることが理論的には可能です。「再生医療」と呼ばれ、将来の医療として注目されています。

小沼さんはどのような研究にかかわっているのですか？

私が勤める産業技術総合研究所(産総研)は、環境・エネルギー、情報通信・エレクトロニクスなど6分野の研究を行う機関です。そのライフサイエンス分野の一部門の幹細胞工学研究センターに所属し、幹細胞の研究を行っています。現在力を注いでいるのはiPS細胞の品質管理です。ヒトiPS細胞は、人間の皮膚などから採取した細胞にいくつかの遺伝子などを導入して作製します。培養して大量につくることができそうですが、細胞によって性質に差があることがわかりました。iPS細胞として万能性を備えて

いるものもあれば、そうでないものもある。例えば心臓の細胞になりやすいものもあればなりにくいものもある、という違いもあります。その差はなぜ生まれるのか、メカニズムを研究し、品質管理や評価の目印になる指標の開発を目指しています。

この指標が完成すれば患者さんの治療内容に合うiPS細胞を、効率よく正確に選ぶことが可能になります。実際の治療に使われるのはまだ先のことで、国内外の研究機関で今後急ピッチに進んでいくであろう臨床研究を、根本から支える技術になると思います。

**医療の最前線の仕事で
やりがいも大きいですね**

10年に川崎重工業、国立成育医療研究センターと共同でiPS細胞自動培養装置を開発し、製品化にいたりしました。私が担当した研究はごく一部ですが、自分の研究を社会に発表することができ、達成感を味わうことができました。また、日々の研究でもトライアル&エラーを繰り返すなかで、新しい発見ができたときの喜びは大きいです。

**どのような経緯で
今の仕事に就いたのですか？**

大学は応用生物科学科で学びました。そのなかで、卵から成熟した個体になるまでの過程を学ぶ「発生生物学」へ

▶ Researcher

研究者 (iPS細胞研究)

再生医療や新薬の開発など
最先端医療を支える研究活動を行う



自分の裁量で進められる仕事。
子育てと両立している
女性研究者も多いです

独立行政法人 産業技術総合研究所 幹細胞工学研究センター 器官発生研究チーム 研究員 小沼泰子氏

おぬま・やすこ ●1975年生まれ。千葉県立船橋高校、東京理科大学理工学部応用生物科学科卒。東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修士課程・博士課程修了。博士(学術)。大学などの研究員を経て09年より現職。

してきた知識を医療に生かし、社会の役に立ちたい。そんな思いで応募したのです。

**この仕事に興味をもつ高校生に
アドバイスをお願いします**

研究論文は読むのも書くのも英語。学会での発表や質疑応答も多くのケースが英語です。高校生のときから英語をしっかりと勉強しておくといいですよ。

Entrepreneur

起業家

多くの人気が気軽に健康診断ができる ワンコイン健診を手がける



全国に「500円健診」を
広め、医療費削減にも
貢献したいです

ケアプロ株式会社 代表取締役社長
川添高志氏

かわぞえ・たかし ● 1982年生まれ。神奈川県立柏陽高校、慶應義塾大学看護医療学部卒。東京大学医学部
附属病院の看護師を経て、07年にケアプロ(株)設立。08年、ワンコイン健診を提供するケアプロ中野店を開設。

「ワンコイン健診」とは
どのようなサービスですか？

仕事帰りや買い物途中に気軽に立ち寄って健康診断ができる、そんな革新的なサービスです。健診メニューは血糖値や総コレステロール、中性脂肪など、1項目500円で検査できます。医療機関の健康診断とは異なり、健康保険証や予約は不要。健診結果は5分程度で出る

このような事業を
考えたきっかけは？

ので、時間もかかりません。
高校時代、大企業にいた父がリストラにあい、ほくのなかにあった大企業志向が崩れました。自分が主役の仕事をしよう、社会に求められる仕事を創ろうと思ったんです。選んだ道が医療。大学の看護医療学部で学び、卒業後は医療現場

場の経験を積むために、東大病院の糖尿病棟の看護師になりました。

ある日、35歳フリーターの方が入院してきました。長い間、健康診断を受けていなくて、糖尿病が進んでいました。足を切断することになり、さらに合併症で失明。働くことができず、生活保護を受けることになりました。

糖尿病など生活習慣病は、健診で早く病気がみつければ重症にならずに済みます。なぜ健診を受けないのか？患者さんに健診を受けない理由を聞いて回った結果、3つの傾向がわかりました。まず、忙しくて健診に行く時間が無い自営業者。2つめは子育てに追われる主婦。3つめはフリーターやアルバイトなど非正規雇用の人。正社員と違って会社で健康診断を受ける機会がなかったり、健康保険証をもっていないと自治体の健診を受けられない人です。そんな「健診弱者」を救いたいと思いました。求められているのは予約や保険証がなくても利用できる、安く、短時間で受けられる健診。絶対に事業化しようと東大の医療政策人材育成講座に参加し、計画を練り上げました。

「ワンコイン健診」の事業の
手ごたえはいかがですか？

お客さまは20代から70代まで幅広く、外国人も健診を受けにきます。「う

苦勞することや、
やりがいとは？

ちの子が肥満気味で心配」と、小学生のお子さんを連れてきて健診を受けさせた主婦もいます。11年8月には東急横浜駅店を開店。店舗のほかにも全国でワンコイン健診の出張サービスを実施しています。シヨピンクセンター、ドラッグストア、フィットネスクラブ、大学の学園祭、パチンコ屋さんなど、さまざまな場所に出かけています。開業約4年でおおよそ10万4000人が健診サービスを利用しましたが、まだまだです。目標は16年までに100万人突破です。

ケアプロでは、血液検査は、受診者が自分で指に針を刺し、採血します。その血液を看護師が検査機器に通し、結果をみてアドバイスをします。これまでにないサービスなので「前例がない」と保健所が難色を示し、出張健診を実施できないケースもあります。

それでもほくが頑張れるのは、利用者が喜んでくれるから。ケアプロで受診して糖尿病が発覚し、病院で治療を受けて快復した方もいて「ケアプロのおかげです。ありがとう」とわざわざお礼を言いにきてくれた方もいます。

ワンコイン健診は、アジアを中心に海外からも引き合いがきています。近い将来、海外進出を実現させたいです。